
平成 21 年度収支決算

自 平成 21 年 4 月 1 日
(
至 平成 22 年 3 月 31 日)

平成 22 年 6 月 8 日

社団法人 日本倉庫協会

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位：円)

社団法人 日本倉庫協会

勘定科目	当年度 (平成22年3月末)	前年度 (平成21年3月末)	増減 (当年度-前年度)
[資産の部]			
流動資産			
現金	293,898	343,186	△49,288
預金	193,269,192	218,008,183	△24,738,991
未収金	2,868,860	3,319,447	△450,587
立替金	121,860	101,190	20,670
貯蔵品	2,618,353	2,474,415	143,938
前払金	364,880	201,180	163,700
流動資産 計	199,537,043	224,447,601	△24,910,558
固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	98,968,000	52,732,000	46,236,000
減価償却引当預金	19,251,397	17,007,090	2,244,307
特定資産 計	118,219,397	69,739,090	48,480,307
その他の固定資産			
建物	5,379,381	6,196,995	△817,614
器具備品	6,353,373	2,049,666	4,303,707
ソフトウェア	936,200	448,800	487,400
倉庫会館保証料	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	13,668,954	9,695,461	3,973,493
固定資産 計	131,888,351	79,434,551	52,453,800
[資産の部] 合計	331,425,394	303,882,152	27,543,242
[負債の部]			
流動負債			
未払金	3,918,082	5,953,276	△2,035,194
預り金	888,305	1,256,838	△368,533
流動負債 中計	4,806,387	7,210,114	△2,403,727
固定負債			
退職給付引当金	98,968,000	97,058,000	1,910,000
記念事業等引当金	22,731,117	22,731,117	0
固定負債 中計	121,699,117	119,789,117	1,910,000
[負債の部] 合計	126,505,504	126,999,231	△493,727
[正味財産の部]			
指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
一般正味財産	204,919,890	176,882,921	28,036,969
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	19,251,397	17,007,090	2,244,307
[正味財産合計]	204,919,890	176,882,921	28,036,969
[負債及び正味財産合計]	331,425,394	303,882,152	27,543,242

[△はマイナスを表す]

正味財産増減計算書
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)
社団法人 日本倉庫協会

勘 定 科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 (当年度-前年度)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	328,246,600	328,333,500	△86,900
教育研修負担金収入	14,375,500	11,889,000	2,486,500
海外研修負担金収入	17,448,100	23,504,070	△6,055,970
会合費負担金収入	14,723,050	14,563,000	160,050
国際倉連横浜大会参加負担金収入	0	17,107,950	△17,107,950
国際倉連横浜大会助成金	0	250,000	△250,000
図書販売収入	7,152,380	6,633,160	519,220
団体保険事務手数料収入	5,475,716	8,956,233	△3,480,517
受取利息	393,399	333,001	60,398
国際倉連日本大会準備金取崩収入	0	15,000,000	△15,000,000
雑収入	842,588	977,024	△134,436
経常収益	388,657,333	427,546,938	△38,889,605
(2) 経常費用			
①事業費			
i 教育研修事業			
報酬・給料	28,856,721	28,638,503	218,218
教育研修費	13,771,180	9,620,414	4,150,766
海外研修費	17,600,211	23,315,374	△5,715,163
印刷費	643,972	585,114	58,858
旅費交通費	3,800,947	2,217,248	1,583,699
借室料	3,786,156	3,786,156	0
事務所費	1,916,808	1,916,808	0
厚生費	3,589,092	3,388,682	200,410
水道光熱費	249,230	300,430	△51,200
機器賃借料	663,673	1,058,518	△394,845
備品消耗品費	915,818	631,045	284,773
教育研修事業計	75,793,808	75,458,292	335,516
ii 研究調査事業			
報酬・給料	48,491,280	48,178,512	312,768
印刷費	18,219,128	20,495,602	△2,276,474
旅費交通費	3,088,155	3,814,317	△726,162
借室料	7,854,840	8,080,884	△226,044
事務所費	3,976,656	4,091,088	△114,432
厚生費	7,018,873	6,532,505	486,368
集会費	16,765,878	16,379,992	385,886
委員会活動費	24,284,652	21,771,819	2,512,833
業務委託費	9,000,000	9,000,000	0
通信費	4,771,334	4,853,251	△81,917
水道光熱費	526,644	641,212	△114,568
機器賃借料	1,377,082	2,259,188	△882,106
備品消耗品費	1,900,004	1,347,509	552,495
研究調査事業計	147,274,526	147,445,879	△171,353
iii 団体保険事業			
報酬・給料	7,753,200	7,722,000	31,200
旅費交通費	0	27,010	△27,010
借室料	1,582,272	1,582,272	0
事務所費	801,048	801,048	0
厚生費	906,478	860,918	45,560
保険事務手数料	1,617,290	2,722,255	△1,104,965
水道光熱費	94,562	125,554	△30,992
機器賃借料	277,360	442,368	△165,008
備品消耗品費	382,747	266,309	116,438
団体保険事業計	13,414,957	14,549,734	△1,134,777
iv 国際倉連横浜大会事業			
業務委託費	0	35,709,274	△35,709,274
雑費	0	560,900	△560,900
国際倉連横浜大会事業計	0	36,270,174	△36,270,174
事業費計	236,483,291	273,724,079	△37,240,788

勘 定 科 目	当 年 度	前 年 度	増 減 (当年度-前年度)
②管理費			
報酬・給料	47,202,703	45,396,340	1,806,363
集会費	8,693,695	8,281,244	412,451
印刷費	841,911	1,205,748	△363,837
旅費交通費	6,134,484	5,931,254	203,230
機器賃借料	1,247,908	1,927,495	△679,587
新聞図書費	1,919,925	1,770,552	149,373
諸分担金	11,958,410	11,831,000	127,410
業務委託費	4,492,530	4,548,390	△55,860
厚生費	7,047,600	5,754,799	1,292,801
借室料	7,120,236	6,894,192	226,044
事務所費	3,604,728	3,490,827	113,901
水道光熱費	468,697	547,051	△78,354
通信費	5,533,559	5,592,385	△58,826
備品消耗品費	1,787,428	1,202,822	584,606
退職給付費用	9,744,000	30,468,000	△20,724,000
建物減価償却費	817,614	817,614	0
器具備品減価償却費	1,179,093	264,858	914,235
ソフトウェア減価償却費	247,600	149,600	98,000
雑費	4,094,952	3,553,891	541,061
管理費計	124,137,073	139,628,062	△15,490,989
経常費用計	360,620,364	413,352,141	△52,731,777
当期経常増減額	28,036,969	14,194,797	13,842,172
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	28,036,969	14,194,797	13,842,172
一般正味財産期首残高	176,882,921	162,688,124	14,194,797
一般正味財産期末残高	204,919,890	176,882,921	28,036,969
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	204,919,890	176,882,921	28,036,969

[△はマイナスを表す]

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品については個別法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却

①有形固定資産については定額法によっている。

②無形固定資産については定額法によっている。

なお、ソフトウェアについては法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、役員及び職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に係る期末要支給額に基づき計上している

(4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	98,968,000	0		98,968,000
減価償却引当預金	19,251,397	0	19,251,397	
合計	118,219,397	0	19,251,397	98,968,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	18,169,200	12,789,819	5,379,381
器具備品	12,268,151	5,914,778	6,353,373
ソフトウェア	1,483,000	546,800	936,200
合計	31,920,351	19,251,397	12,668,954

4. 保証債務

該当なし。

財 産 目 録

(平成22年3月31日現在)

(単位：円)

社団法人 日本倉庫協会

勘 定 科 目 / 備 考	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金預金		
現金	293,898	
預金		
郵便振替口座	9,094,234	
当座預金 三井住友日本橋東支店	82,059,078	
定期預金 三井住友日本橋東支店	70,150,000	
当座預金 三菱東京UFJ銀行深川支店	163,782	
普通預金 みずほ銀行深川支店	6,176,426	
普通預金 三菱東京UFJ銀行門前仲町支店	19,037,847	
普通預金 三菱UFJ信託銀行本店	6,499,982	
普通預金 みずほ銀行深川支店 かび保険口	3,105	
普通預金 みずほ銀行深川支店 共済口	74,738	
普通預金 みずほ銀行深川支店 賠償保険口	10,000	
現金預金合計	193,563,090	
(2) その他の流動資産		
未収金 共済保険事務手数料他	2,868,860	
立替金 職員諸費用	121,860	
貯蔵品 印刷物	2,618,353	
前払金 共済保険料・ト業務運営費	364,880	
その他の流動資産合計	5,973,953	
流動資産合計		199,537,043
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
退職給付引当預金		
定期預金 みずほ銀行深川支店	98,968,000	
減価償却引当預金		
定期預金 三菱UFJ信託銀行本店	19,251,397	
特定資産合計	118,219,397	
(2) その他の固定資産		
建物 内装工事費	5,379,381	
器具備品 机・椅子他	6,353,373	
ソフトウェア 会計システム	936,200	
倉庫会館保証料	1,000,000	
その他の固定資産合計	13,668,954	
固定資産合計		131,888,351
資産合計		331,425,394
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金 印刷費他	3,918,082	
預り金 共済保険料他	888,305	
流動負債合計		4,806,387
2. 固定負債		
退職給付引当金	98,968,000	
記念事業等引当金	22,731,117	
固定負債合計		121,699,117
負債合計		126,505,504
正味財産		204,919,890

収支計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

社団法人 日本倉庫協会

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 (決算額－予算額)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	329,400,000	328,246,600	△1,153,400
教育研修負担金収入	16,200,000	14,375,500	△1,824,500
海外研修負担金収入	15,710,000	17,448,100	1,738,100
会合費負担金収入	19,170,000	14,723,050	△4,446,950
図書販売収入	6,640,000	7,152,380	512,380
団体保険事務手数料収入	5,900,000	5,475,716	△424,284
受取利息収入	300,000	393,399	93,399
雑収入	700,000	842,588	142,588
事業活動収入計	394,020,000	388,657,333	△5,362,667
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
i 教育研修事業			
報酬・給料支出	29,120,000	28,856,721	△263,279
教育研修費支出	14,200,000	13,771,180	△428,820
海外研修費支出	16,310,000	17,600,211	1,290,211
印刷費支出	800,000	643,972	△156,028
旅費交通費支出	4,400,000	3,800,947	△599,053
借室料支出	3,810,000	3,786,156	△23,844
事務所費支出	1,930,000	1,916,808	△13,192
厚生費支出	3,880,000	3,589,092	△290,908
水道光熱費支出	370,000	249,230	△120,770
機器賃借料支出	670,000	663,673	△6,327
備品消耗品費支出	1,000,000	915,818	△84,182
教育研修事業計	76,490,000	75,793,808	△696,192
ii 研究調査事業			
報酬・給料支出	49,410,000	48,491,280	△918,720
印刷費支出	25,500,000	20,837,481	△4,662,519
旅費交通費支出	5,500,000	3,088,155	△2,411,845
借室料支出	8,000,000	7,854,840	△145,160
事務所費支出	4,100,000	3,976,656	△123,344
厚生費支出	7,640,000	7,018,873	△621,127
集会費支出	18,950,000	16,765,878	△2,184,122
委員会活動費支出	39,000,000	24,284,652	△14,715,348
業務委託費支出	9,000,000	9,000,000	0
通信費支出	5,200,000	4,771,334	△428,666
水道光熱費支出	750,000	526,644	△223,356
機器賃借料支出	1,390,000	1,377,082	△12,918
備品消耗品費支出	2,060,000	1,900,004	△159,996
研究調査事業計	176,500,000	149,892,879	△26,607,121
iii 団体保険事業			
報酬・給料支出	7,800,000	7,753,200	△46,800
旅費交通費支出	200,000	0	△200,000
借室料支出	1,610,000	1,582,272	△27,728
事務所費支出	820,000	801,048	△18,952
厚生費支出	1,030,000	906,478	△123,522
保険事務手数料支出	1,850,000	1,617,290	△232,710
水道光熱費支出	160,000	94,562	△65,438
機器賃借料支出	290,000	277,360	△12,640
備品消耗品費支出	420,000	382,747	△37,253
団体保険事業計	14,180,000	13,414,957	△765,043
事業費支出計	267,170,000	239,101,644	△28,068,356

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異 (決算額-予算額)
②管理費支出			
報酬・給料支出	48,240,000	47,202,703	△1,037,297
集会費支出	10,400,000	8,693,695	△1,706,305
印刷費支出	1,450,000	841,911	△608,089
旅費交通費支出	6,700,000	6,134,484	△565,516
機器賃借料支出	1,260,000	1,247,908	△12,092
新聞図書費支出	2,400,000	1,919,925	△480,075
諸分担金支出	12,150,000	11,958,410	△191,590
業務委託費支出	4,700,000	4,492,530	△207,470
厚生費支出	7,370,000	7,047,600	△322,400
借室料支出	7,200,000	7,120,236	△79,764
事務所費支出	3,700,000	3,604,728	△95,272
水道光熱費支出	680,000	468,697	△211,303
通信費支出	7,200,000	5,533,559	△1,666,441
備品消耗品費支出	1,880,000	1,787,428	△92,572
雑支出	3,700,000	4,094,952	394,952
管理費支出	119,030,000	112,148,766	△6,881,234
事業活動支出計	386,200,000	351,250,410	△34,949,590
事業活動収支差額	7,820,000	37,406,923	29,586,923
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入			
退職給付引当預金取崩収入	0	7,834,000	7,834,000
投資活動収入計	0	7,834,000	7,834,000
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出			
減価償却引当預金取得支出	2,950,000	2,244,307	△705,693
退職給付引当預金取得支出	54,070,000	54,070,000	0
特定資産取得支出計	57,020,000	56,314,307	△705,693
②固定資産取得支出			
建物取得支出	0	0	0
器具備品取得支出	6,600,000	5,482,800	△1,117,200
ソフトウェア取得支出	8,000,000	735,000	△7,265,000
固定資産取得支出計	14,600,000	6,217,800	△8,382,200
③その他固定負債支出			
退職給付引当金支出	0	7,834,000	7,834,000
その他固定負債支出計	0	7,834,000	7,834,000
投資活動支出計	71,620,000	70,366,107	△1,253,893
投資活動収支差額	△71,620,000	△62,532,107	9,087,893
III 予備費支出			
予備費支出	10,000,000	0	△10,000,000
当期収支差額	△73,800,000	△25,125,184	48,674,816
前期繰越収支差額	217,237,487	217,237,487	0
次期繰越収支差額	143,437,487	192,112,303	48,674,816

[△はマイナスを表す]

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、未収金、立替金、前払金等及び未払金、預り金、前受金等を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	218,351,369	193,563,090
未収金	3,319,447	2,868,860
立替金	101,190	121,860
貯蔵品	2,474,415	—
前払金	201,180	364,880
計	224,447,601	196,918,690
未払金	5,953,276	3,918,082
預り金	1,256,838	888,305
計	7,210,114	4,806,387
次期繰越収支差額	217,237,487	192,112,303

3. 貯蔵品は販売用印刷物のため、今期より資金の範囲より除外した。

独立監査人の監査報告書

平成22年5月7日

社団法人 日本倉庫協会

会長 安部正一 殿

高品公認会計士事務所

公認会計士 高品 敏



私は、社団法人日本倉庫協会の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの平成21年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1)財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、社団法人日本倉庫協会の平成21年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2)収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、社団法人日本倉庫協会の平成21年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

社団法人日本倉庫協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上